

2017年度事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

NPO 法人アジュール舎

1. 2017年度の活動総括

2005年に宇治黄檗の地で任意団体として活動を始めたアジュール舎は、京都府の認可を受けて、2007年8月29日（法人登記日）から特定非営利活動法人として活動しています。

その法人設立から早や10年となり、2017年度は記念誌の発行と記念DVD「まなざし」の制作を行うことによりNPO活動としての歴史を振り返ることになりました。11月には10周年記念イベントを開催し、DVD「まなざし」上映、地域のお寺でのキャンドルナイト、会員交流の食事会等を開催することができました。

また、2008年4月1日に開所した「児童デイサービス・児童デイころぼっくる」は、2012年の児童福祉法の大きな改正により、多機能型の「障害児通所支援事業所・児童デイころぼっくる」となり、2017年度は、改正後5年の見直しの最終年度でもありました。

「障害児通所支援事業」は専門性が高い対人支援ですが、2017年度は、療育支援員2名が年度途中で相次いで退職する事態が生じました。幸い、8月に療育長（作業療法士）を迎えていたため、常勤の療育支援員2名と欠員補充した非常勤療育支援員とともに難局を乗り越えることができました。

会員数66人 通信4回発行。

2. 事業実施報告

(1) 児童デイころぼっくる（児童福祉法 多機能型障害児通所支援事業）

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日 (B) 実施場所 (C) 従業者数	(D) 対象 (E) 人数 (F) 利用料
ころぼっくる (児童発達支援)	<ul style="list-style-type: none">・療育部門は法人会長が7月まで療育長を代行し、8月より亀口史洋療育長を迎えた。・子ども支援の現場で経験を積んできている、心理専門職の非常勤職員6人を採用した。・8月より作業療法士でもある、療育長を療育部門のトップに、療育支援員（心理士、保育士、児童指導員）の組織体制とした。・月1回保護者の療育相談“親さろん”を実施。親カウンセラーと保護者による「オープンダイアログ」の場として試みた。・親カウンセラーは、法人会長と松島さかゑさん、渡辺美也子さん、竹之下雅代さんが担った。・6月に就学オリエンテーションを実施。年間を通して就学に向けた継続支援を行った。	(A) 火～土曜日 (B) ころぼっくるの家 (C) 10人 (非常勤・パート職員含)	(D) 幼児 (E) 40人 (宇治市40人) (F) 1割負担

	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に11日間、京都文教大学臨床心理学部の保育実習生を1人受け入れた。 ・12月、1月に施設見学会を実施した。 		
はらっぱ (放課後等デイサービス)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記ころぼっくると同様組織改編を行った。 ・月1回の親さろんを実施。今まで取り組めていなかった、療育相談という形式での保護者支援を行った。 ・はらっぱ利用児の学校へのお迎え(育成学級も含む)を実施した。 ・送迎担当職員(4人)を確保した。 ・送迎担当職員の内1人は宇治市シルバー人材センターの派遣職員。 ・車椅子対応のリース車両を1台導入した。 ・毎週木曜日に介助有償ボランティアとして、キャンナス宇治より男性1人を派遣してもらった。 ・7月に子ども発達支援センター(すてっぷセンター)より施設見学があった。 ・京都大学大学院教育学研究科の学生1人が、研究調査を実施した。 ・2月に新1年生向けの説明会を開いた。 	<ul style="list-style-type: none"> (A) 火～土曜日 (B) ころぼっくろの家 (C) 15人 (非常勤・パート職員含) 	<ul style="list-style-type: none"> (D) 小学生・中学生 (E) 68人 (宇治市65人、京都市2人、城陽市1人) (F) 1割負担
子ども訪問ころぼっくろ (保育所等訪問支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度利用児のフォローとして学校訪問を実施した。保育所等訪問支援としての実施はなかった。 ・日ごろから園、学校と連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> (A) 火～金曜日 (B) 園、学校へ訪問 (C) 1人(兼務) 	<ul style="list-style-type: none"> (D) 幼児～小学生・中学生 (E) 0人 (F) 1割負担

(2) 子ども発達相談支援室 ぴりか (児童福祉法 障害児相談支援事業)

具体的な事業内容	(A) 実施日 (B) 実施場所 (C) 従業者数	(D) 利益対象 (E) 人数 (F) 利用料
<ul style="list-style-type: none"> ・療育部門と相談部門の組織改編に伴い、原田相談支援専門員と相談員3人の体制とした。 ・ころぼっくろ(児童発達支援)とはらっぱ(放課後等デイサービス)に通所している利用児の切れ目のないモニタリングと、サービス等利用計画の作成、面談を行った。 ・療育事業と連携しながら、子どもの育ちや家庭不安についての基本相談を行った。 ・他機関と情報共有等の連携を図った。 ・山城北圏域自立支援協議会と宇治市自立支援協議会に参加した。2月には研修見学にも参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> (A) 火～金曜日 (B) ころぼっくろの家 (C) 4人(兼務) 	<ul style="list-style-type: none"> (D) 幼児～小学生・中学生・高校生 (E) 112人 (F) 無料

(3) アジール心理発達相談室（自主事業）

具体的な事業内容	(A) 実施日 (B) 実施場所 (C) 従業者数	(D) 利益対象 (E) 人数 (F) 利用料
<ul style="list-style-type: none">・ 児童デイころぼっくるや親子塾と連携を図りながら、親子支援を実施した。・ 療育部門や相談部門と連携しながら、親御さんの子育てや生活面での不安、悩みについての相談を行った。・ 主として児童デイころぼっくる利用児への発達検査を実施した。	(A) 火～木曜日 (B) アジール心理発達相談室 (C) 2人（兼務）	(D) 幼児～大人 (E) 25人 (F) 1,000円/回

(4) すぷりんぐ（フリースペースすぷりんぐ/アジール親子塾）（自主事業）

具体的な事業内容	(A) 実施日 (B) 実施場所 (C) 従業者数	(D) 利益対象 (E) 人数 (F) 利用料
<ul style="list-style-type: none">・ すぷりんぐでは、5人の新規児を迎え17人が利用した。・ 親子塾は原則小学生であるが、事情のある中学生も受け入れ学習支援と親御さんへの教育相談を実施した。・ 8月に改装を行い、カウンターや図書室、学習室、ミーティング室、屋外ベンチを整備した。・ 11月「10周年記念セレモニー」を開催した。50人の参加があった。・ 10周年記念DVD「まなざし～子どもたちが映す世界～」と記念誌を制作した。DVDは記念セレモニーで上映した。・ 12月と2月にアジールカフェタイムを開催した。・ 3月に春のお楽しみ会を開催した。・ 法人のフェイスブックとインスタグラムを開始した。SNS (social network service) を通した情報発信を行った。	(A) 火～金曜日 (B) フリースペースすぷりんぐ (C) 5人	(D) 小学生 (中学生) (E) 20人 (F) 1,500円/回、 1,000円/月